



五中だより

令和5年1月10日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町1-798

自分の良いところを見つけよう

校長 伊藤 克行

皆様、今年もよろしくお願いします。令和5年最初の学校だよりのテーマは、令和5年、今年の1年間の間に一つでも多くの「自分の良いところを見つけよう」です。

昨年11月から3年生と進路に向けた面接練習を行っていますが、私はこの練習の中で多くの生徒に「自分の良いところはどんなところですか」と質問しています。1、2年生の皆さんはどうですか。この質問に答えられますか。自分の良いところを10個あげてくださいと言ったら答えられますか。

日本人はこういった質問に答えることが大変苦手な傾向があるといわれています。「謙遜」という言葉もありますが、日本人は目立つのを嫌い、控えめなことを良しとする文化があるように私も感じています。「自分の良いところ」を面接で答えることはなんとなくできるかもしれませんが、自分自身が良いところと本当に感じられているかと言えばどうでしょうか。

私自身も本当に「ここは自分の良いところだなあ」とか「自分はこういうことをしていると楽しいんだなあ（充実している）」と感じられるようになったのは、ずいぶん最近のことのような気がします。

私が20代の頃、身近に素敵（魅力的）な人だなあと感じる人がいました。その人が私にこんなことを教えてくれました。「自分が相手に素敵だなあとか、魅力的だなあと感じることは、あなた自身の中に存在している良いところだと私は思うよ」。さらにその人は「私もあなたがいいなあと思うのはあなたが私に感じていることと同じところですよ」。そんなことを言ってくれました。当時の私は大変嬉しかったことをよく覚えています。正直に言えば、そのときの私は嬉しい気持ちの方が大きくて本当に自分にそんな良いところがあるとは自覚していなかったように思います。ただその時、少し自信がついて、自分の良いところにしていけるといいなあと思いました。

学校生活は自分が好きかどうかは別にして、やらなければならないことや、あまりよく知らない仲間と一緒に何かをしなければならぬことがたくさんあります。しかしこれらは、すべて自分が知らない自分自身の良いところに気付くチャンスです。そして周りの仲間が素敵に見えたり、活躍している姿を見かけたら、是非それを言葉にして相手に伝えてください。もしかしたら「すごいなあ」と感じるその仲間の素晴らしさは、あなたの中にもあることかもしれません。今年1年の間に、皆さんがたくさんの「自分の良いところ」を見つけることができるよう、私も応援しています。

子供を笑顔にするプロジェクト(12/19)

東京都教育委員会の事業「子供を笑顔にするプロジェクト」で、1・2年生を対象にオリンピックによる講演会を行いました。このプロジェクトは、コロナ禍で多くの制約を受けている子供たちが、「見る・聞く・触れる」など様々な体験を通して笑顔を取り戻すきっかけになるようにという目的で行われているものです。

両学年ともにスキー教室目前ということで、プロスキーヤーの小野塚彩那さんにお越しいただきました。小野塚さんはソチオリンピック銅メダル、平昌オリンピック5位入賞の経験をもとに、前向きに生きることや自らチャンスをつかむ努力をすることの大切さを、ユーモアを交えながら話してくださいました。「やらずに後悔するより、やって後悔する」生き方に子供たちは感銘を受け、「笑顔」で話を聞きました。



大掃除(12/22)

学期末恒例の大掃除を実施しました。普段はなかなか清掃が行き届かないロッカーや棚の中、扉や窓のさん、掃除用具入れやストーブの裏も雑巾や専用の用具を使って丁寧に清掃しました。年末ということもあり、いつも以上に気持ちを込めて取り組んでいました。一般生徒が帰った後に、各クラスの美化委員が残ってワックス掛けをしてくれました。

校内がピカピカになり、気持ちよく年末年始を迎えることができました。



教育実習

1月10日(火)より2月3日(金)まで早川琴音先生が教育実習を行います。教科は保健体育、学級は1年3組を担当します。よろしくお願いいたします。